

お客さまに電気を安定的にお届けするために、供給力確保に全力で取り組んでいます。

供給力確保のためのさまざまな取り組みをすすめています。

昨年の東京電力福島第一原子力発電所事故以降、定期検査で停止中の原子力発電所の再稼働ができず、関西電力の原子力発電所も全基が停止した状態が続きました。関西電力は再稼働に向けた取り組みを続けるとともに、現在も供給力確保に全力を注いでいます。火力発電所・水力発電所の定期点検・補修工程を調整して運転を継続するとともに、長期計画停止としていた海南発電所2号機を再稼働し、姫路第一発電所に小型ガスタービンを設置するなど、自社の発電設備を最大限に活用する取り組みを行っています。さらに、他社からの応援融通やお客さまの自家発電設備からの受電等により、さまざまな角度から供給力の確保に全力で努めています。



海南発電所2号機の再稼働



小型ガスタービンの設置(姫路第一発電所)

供給力に影響するトラブルを最小限に抑える地道な活動を続けています。

供給力に余裕がない状態では、発電設備や送電設備等のトラブルは安定供給に大きな影響を与えます。そのため、巡視や保守点検を強化し、事故やトラブルの芽を未然につむ努力を続けています。こういった取り組みを行っていても、設備不具合等による発電停止や出力抑制が起こることがありますが、不具合箇所の修理については、電気の需要が増える平日の朝から夜にかけての供給力を確保するため、可能な限り平日の深夜や休日を利用して最短工程で復旧できるように努めています。また、原子力発電所を十分に稼働できない状況では、夏季・冬季の電力需要のピーク期に火力発電所をフル稼働させる必要があります。その燃料である石炭やLNG(液化天然ガス)は、大型船を使って週に1、2回、石油では毎日のように石油基地から発電所へ運びます。時化などで船が遅れると発電所の運転にも影響が出るため、懸命に調整を行っています。



保守点検の強化

昨年以上に厳しい需給状況の中、お客さまや社会の皆さまのご協力のもと、今夏も停電を回避することができました。

関西電力では、供給力確保に全社を挙げて取り組んでいます。しかしながら本年は、昨年以上に厳しい需給状況であることから、引き続きお客さまや社会の皆さまに節電のご協力をお願いいたしました。具体的には、昨年同様、ダイレクトメール、チラシ、テレビCM、新聞広告などでお知らせさせていただくとともに、「節電トライアル」の新規実施や、電力ピーク時に電気のご使用量を抑えていただく料金メニューの設定・拡充等を通して、お客さまや社会の皆さまにご協力をお願いいたしました。その結果、お客さまに多大なご協力をいただき、また大飯発電所3号機、4号機が再稼働したこともあり、広範囲な停電に至ることなく、今夏を乗り切ることができました。改めてご不便とご迷惑をおかけしましたことをお詫びするとともに、ご協力に厚くお礼を申し上げます。



電気の需給情報をお知らせする「でんき予報」



節電へのご協力をお願いするテレビCMやチラシなど



「節電トライアル」は、お客さまの節電を促進する初めての試み



電気ご使用量を比較できるなど、節電にお役立ていただける「はびみる電」

厳しい需給状況が続くことが予想されるため、供給力確保に、可能な限りの努力を続けていきます。

原子力発電所を十分に稼働できない状況では、火力発電に供給力の多くを依存することになるため、産油国の政情不安などにより燃料供給が不安定となると、供給力に大きな影響を与える可能性があります。そこで、幅広い供給元から燃料を調達したり、生産者の追加販売の余力を常に調査する等、安定的に燃料調達を行うための取り組みを実施しています。今夏は大飯発電所3号機、4号機を再稼働することができましたが、厳しい需給状況は今後も続くと思われます。お客さまには度重なる節電などで多大なるご不便、ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。関西電力は、今後も大飯発電所3号機、4号機の安全・安定運転に全力で取り組んでいくとともに、供給力の確保に最大限の努力を続けていきます。

